

## 合同分科会 2023 年度会合

# イノベーション

～ SS 研会員限定 ～

■ 日時 : 2023 年 10 月 26 日(木) 13:30~17:45 (受付 13:00~)

■ 場所 : 神戸国際会議場

(住所 : 兵庫県神戸市中央区港島中町 6-9-1 5 階 501)

■ 開催方法 : 集合開催

※現地での参加にあたりましては各自でご判断いただきますようお願いいたします。

■ ご参加について

- 参加対象 : SS 研会員限定
- 参加費 : 無料

■ 開催趣旨

現在、生成 AI が大きな注目を集めています。その発展は計算機性能の向上とビッグデータの増加によって日々加速されています。しかし、社会を変えうる技術は生成 AI だけではありません。私たちの社会が直面している課題は多岐にわたり、これらの課題を解決するためには単一の技術だけではなく、様々な技術やアイデアを組み合わせる新たなイノベーションを生み出すことが必要です。今年の合同分科会では、「イノベーション」をテーマに、各分野で進められているイノベーションの芽を紹介し、それぞれの分野でどのような未来（ビジョン）を想定し、そのビジョンに向けた現在の行動をバックキャストしているかについて触れることで、皆さまの新たな気付きにつながり、イノベーションの一助となれば幸いです。

■ プログラム (予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。)

-敬称略-

13:00~	受付
	[司会] 荒井 亮太(富士通)
13:30~13:40	会長挨拶 岡村 耕二(九州大学) 開会趣旨説明 立川 智章(東京理科大学)
13:40~14:25 講演 35分 Q&A 10分	[1] 環境研究のイノベーション 衛星とサプライチェーンまで 金本 圭一郎(総合地球環境学研究所) 私達の消費は、サプライチェーンを通じて、その消費地とは全く違った場所で様々な環境問題を引き起こしている。しかしながら、今朝飲んだコーヒーが、ブラジルで引き起こした森林伐採や生物多様性の損失をたどることは難しい。本研究では、社会科学と自然科学の共同のために必要なイノベーションの芽を紹介する。
14:25~15:10 講演 35分 Q&A 10分	[2] 福井県に於ける衛星データ利活用の推進 利用事例とシステムのご紹介 山西 康介(株式会社ネスティ) 福井県では「福井県民衛星プロジェクト」と銘打ち、宇宙産業を新たな地域の産業とすべく産学官金が一体となり、プロジェクトに取り組んでいます。福井県民衛星「すいせん」は全国初の自治体主導の超小型人工衛星として 2021 年の 3 月 22 日に無事打ち上げが成功し現在も安定して観測を行っています。当社は富士通さんと共に福井県及び県内の自治体向けに衛星データを利用した地域改題解決型のソリューションを開発・提案しています。本公演では利用例やシステムの内容等をご説明させていただきます。

(裏面に続く)

15:10~15:25	休憩 [15分]
	[司会] 楫 勇一(名古屋大学)
15:25~16:10 講演 35分 Q&A 10分	<p><b>[3] 我々は宇宙で孤独な存在なのか？ 地球外生命探査に向けた試行錯誤</b> 大石 雅寿(国立天文台)</p> <p>生命はどのように始まったのか？この人類の長年の疑問に宇宙的視点から取り組むのが、天文学、物理学、化学、生物学、地球物理学などの学際協力によるアストロバイオロジーである。太陽系外惑星が5000個以上発見され、その中には生命を育む環境もあると考えられている。太陽系内にも地球以外に生命存在の可能性がある。講演では、いつ成功するか分からない、常識にとらわれない発想が必要な地球外生命探査に向けた取り組みをご紹介します。</p>
16:10~16:55 講演 35分 Q&A 10分	<p><b>[4] デジタルツインによる製造業イノベーション</b> 松尾 裕一(東京理科大学)</p> <p>デジタルツインは、M. Grievesが2002年にPLMコースでその概念を提唱し、2012年にNASAが宇宙機の寿命予想にはじめてデジタルツインという言葉とともに使ったとされる。2019年にはガートナーが注目ワードの一つに挙げ、最近では、製造業だけでなく建築・土木、防災、ヘルスケアなど様々な方面でデジタルツインという言葉を見聞するようになった。ただ、主にコンセプトが先行し、内容、実態、課題、将来展望などについて興味を持たれている方は多いと思う。我々は、デジタルツインは技術ではなく仕組みや枠組みと捉えており、計測と解析の融合、ITとOTの融合、リアルタイム処理といった新たな技術的側面を炙り出していると考えている。本講演では、イノベーションの材料としてデジタルツインについて製造業の状況や課題・展望を述べるとともに、東京理科大学における教育や人材育成における適用例を紹介する。</p>
16:55~17:40 講演 35分 Q&A 10分	<p><b>[5] (準備中)</b> 永山 翔太(慶応義塾大学)</p>
17:40~17:45	閉会挨拶 野田 茂穂(理化学研究所)
17:45~18:10	休憩・会場移動
18:10~19:30	<p>懇親パーティ ※会費制：3,000円(当日受付にて申し受けます)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 司会：山田 久仁(富士通)</li> <li>● 乾杯：松本 多恵(総合地球環境学研究所)</li> <li>● 歓談</li> <li>● 中締め：副会長 高木 亮治(JAXA)</li> </ul>

## ■ 詳細・お申し込み

SS研Webサイトからお申し込みください。

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>

※オンライン参加用のアクセスURLは10月23~24日にお知らせさせていただきます。



【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会(SS研)事務局  
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター  
富士通(株)TC事業部第二ビジネス部内  
Email:ssken-office@ml.css.fujitsu.com  
URL <http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>